



知の連鎖で地球課題に挑む

長崎大学は地球環境や生態系、人や動物の健康に関する研究や活動を通じて、地球規模の課題に貢献する「プラネタリーヘルス」の実現をキーワードに掲げています。今回、プラネタリーヘルスの全学的な取り組みをまとめる政策企画室のメンバーと担当副学長が集まり、座談会を実施しまし

た。テーマは「地球の健康のために長崎大学ができること～プラネタリーヘルスについて考える～」。
〈企画・制作／長崎新聞社メディアビジネス局・クロスメディア編集部〉

プラネタリーヘルスのために Vol. 6

プラネタリーヘルスマインド

社会や地球が抱える問題を様々な専門知を駆使して検証、考察し、知の連鎖を誘発させてこれまでにない、新しい知を創出する



特定の立場や、既存の分野、領域に捕らわれない複眼的視点で、課題に向き合おうとする姿勢

しなやかな思考力
新しい知的探求への挑戦

座長	調 漸 副学長
人文社会科学域経済学部准教授	津留崎 和義 学長補佐
生命医科学域医歯薬学総合研究科講師	一瀬 邦弘 学長補佐
病院腫瘍外科病院講師	宮崎 拓郎 学長補佐
総合生産科学域工学研究科教授	近藤 智恵子 学長補佐

参加者



調 漸 氏

さまざまな問題、地域課題もある。プラネタリーヘルスは研究者をなく共通テーマだと思つて。

入ってくる若い学生にもそのことを考えてほしい。高い専門性を身に付けているのはその点でもある。プラネタリーヘルスも、人間に近い場所でも生きていく環境に必要だ。温暖化や開発に伴い、野生動物が人間に近い場所でも生きていく環境に必要だ。温暖化や開発に伴い、野生動物が人間に近い場所でも生きていく環境に必要だ。

調 漸 氏 環境に適応しながら幸福になり、それを未来の人間につなげていくことを知り出せるかという点。複雑な社会の中で、さまざまな分野の知見を結び付け、より良いものをつくり出すことも求められている。

調 漸 氏 長崎大学は最先端で戦つていく。しかし、プラネタリーヘルスを旗印に、さまざまな研究が、研究者たちが結びついていくことを知ってほしい。文系・理系という垣根も今後なくなっていくだろう。

調 漸 氏 環境問題や地球温暖化といった気候変動に関心がある若者たちに対し、このプラネタリーヘルスへの取り組みは強烈なメッセージになる。

調 漸 氏 研究者は研究室で、自分の世界にこもっているイメージを持つ学生も多いと思つた。私はずっと「未知の疾患との闘い」について説明したい。まさに新型コロナウイルスと闘っている感、感染症研究という分野

プラネタリーヘルスとは

調 今年1月、河野茂学長から全教職員に対して1通のメールが届いた。長崎大学は今後、プラネタリーヘルス地球の健康へ貢献していく、というメッセージを研究者としてどう受け止めたか。

一瀬 地球上のさまざまな動物も人間も、同じ生命体としていかに、共に健康でいられるかという大きな視点に立った考え方。人間だけでなく、地球の健康を守るために、何ができるのかという問いを改めて考えさせられた。

近藤 長崎大学は特に「熱帯医学研究所」や「核兵器廃絶研究センター」(RECN)という、際立った特色の研究機関がある。私は総合生産科学域の工学部に所属しているが、そうした専門外の研究機関と連携することで広がりのある研究が生まれる可能性がある。

津留崎 経済学部という文系でもプラネタリーヘルスに対して貢献できることはたくさんある。例えば、貧困や経済格差、地域格差といった論点などは、研究者にとって究極のテーマであり、それに関わらない人はいない。

宮崎 私たちが幼少の頃に比べ、長崎県でも夏が暑くなり豪雨や災害も増え、気候変動といった地球規模の問題を市民として実感している。本県でも少子高齢化や、離島と本土との教育の格差といった課題がある。

宮崎 グローバル化するほどウイルスも広がる。一方で、経済活動や交通移動を制限すれば、経済や人の生活に多大な影響を及ぼす。一つの問題だけを解決しても解決しないことを現状が示している。

津留崎 プラネタリーヘルスを考えるには、どういったことだと思つていいか。問題の構造が複雑だから、一面の向き合いだけでは無理。工学部の知見や、学部の知識、経済学の考え方といった多角的な視点で考え、知の連鎖を生むことで地球課題の解決に挑むことがプラネタリーヘルスだと思つた。

津留崎 プラネタリーヘルスだと思つた。一つの問題だけを解決しても解決しないことを現状が示している。

地球の全てを対等に捉える

一瀬 コロナ禍で、何が一番変わったかという点、私は想像するようになった。つまり5年後、10年後の近い日本の将来を人間の英知によってどう創り上げていくかを真剣に考えるようになった。

近藤 在学や、これから入ってくる若い学生にもそのことを考えてほしい。高い専門性を身に付けているのはその点でもある。プラネタリーヘルスも、人間に近い場所でも生きていく環境に必要だ。

宮崎 SDGsは項目ごと具体的な目標が定められている。プラネタリーヘルスが目指す方向性と類似しているように見えるが、その違いをどう考えるか。

宮崎 SDGsは項目ごと具体的な目標が定められている。プラネタリーヘルスが目指す方向性と類似しているように見えるが、その違いをどう考えるか。

宮崎 研究者は研究室で、自分の世界にこもっているイメージを持つ学生も多いと思つた。私はずっと「未知の疾患との闘い」について説明したい。まさに新型コロナウイルスと闘っている感、感染症研究という分野

宮崎 研究者は研究室で、自分の世界にこもっているイメージを持つ学生も多いと思つた。私はずっと「未知の疾患との闘い」について説明したい。まさに新型コロナウイルスと闘っている感、感染症研究という分野

宮崎 研究者は研究室で、自分の世界にこもっているイメージを持つ学生も多いと思つた。私はずっと「未知の疾患との闘い」について説明したい。まさに新型コロナウイルスと闘っている感、感染症研究という分野

地球の健康のために長崎大学ができること～プラネタリーヘルスについて考える～



一瀬 邦弘 氏



津留崎 和義 氏



宮崎 拓郎 氏



近藤 智恵子 氏



津留崎 和義 氏



宮崎 拓郎 氏

目指すのは人間力回復
本県の課題ともリンク
学部横断で新発想生む
未来を想像する契機に

津留崎 氏
宮崎 氏
一瀬 氏
近藤 氏

5つの地球規模の課題

- 未知の疾患との闘い
- 海洋環境
- 地球と人間の安全保障
- グリーンテクノロジー
- エコヘルス

プラネタリーヘルス 5つのテーマ

- 未知の疾患との闘い
- 海洋環境
- 地球と人間の安全保障
- グリーンテクノロジー
- エコヘルス

会員募集中

長崎大学のメールマガジン

毎月1回配信。長崎大学の最新情報をお届けします。

《主な配信内容》／注目情報／イベント情報／ニュース&トピックス／学生の活動／学術研究情報



長崎大学は地球の健康のために貢献します

長崎大学の卒業生 教職員OBの方

長崎大学校友会メールマガジン
https://www.alumni.nagasaki-u.ac.jp/

保護者等一般の方

長大(CHODAI)メール
http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/mailmagazine/

長崎大学は地球の健康のために貢献します